

令和5年5月31日



西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

NO.3(71号)

横浜市立義務教育学校

西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>

(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

非日常がもたらすパワー

後期課程 (中学部) 副校長 梶ヶ谷朋恵

5月！新緑に心躍る季節がやってきました。ここ数年にはないレベルの人出が見られたゴールデンウィークに始まり、清々しい晴天の日も多く、時には5月とは思えない気温の高さに驚く日もありました。今年の夏はいつも以上に暑い日が多いのではないかと、暑さに弱い身としては、内心ひやひやしております。

西金沢学園では、5～6月にかけて宿泊行事が続きます。5月中旬には9年生の長崎修学旅行、下旬には8年生の戸狩自然教室。5月31日以降も、6年生の修学旅行、4年生、5年生の体験学習と、学年ごとの楽しい行事が目白押しです。先日、宿泊ラッシュの前半戦、9年生の長崎修学旅行と8年生の自然教室が、無事予定通りに実施されました。昨年度のうちから、さまざまな準備に取り組み、当日をワクワクしながら迎え、笑顔いっぱいの2泊3日を過ごすことができました。大きな事故やケガもなく、どちらの行事も大成功で幕を閉じることができました。本当に良かったと思います。ご家庭の支えや協力に心から感謝申し上げます。

学校のさまざまな教育活動の中で、宿泊行事のもたらすパワーは格別です。普段生活している場所を離れ、普段とは違うものを目で見て、耳で聞き、肌で感じる「旅」がもともと持っている魅力を堪能することも、もちろんですが、学校の宿泊行事でしか経験できないことも多くあるように思います。日常の学校生活から離れる解放感、一方で家族とは異なる大人数で制限のある中での生活、その場所&学校行事でしかできない様々な体験、普段話さないクラスメイトとの交流、新しい人との出会い、新たな自分の発見…などなど。

今後、学校を卒業して、友達と自由に計画する旅行や家族での旅行を楽しむことはあっても、大勢の仲間や先生と共に学び、体験を積む旅行は、学生時代を終えともう経験することがないかもしれません。皆さんが大人になって懐かしく思い出す場面の一つになるといいなと思います。

さて余談ですが、私自身は過去に、日常生活をひたすら退屈に感じ、非日常ばかりを追いかけていた時代がありました。非日常はいつも刺激的で、キラキラ輝く高揚感が最高だと思っていました。自分が趣味で没頭している歌の世界も、日々の地味な練習よりも本番の方が圧倒的に楽しく、毎日本番でもいいと言っていました。最近になって、体力の衰えとともに(?) そんな非日常のパワーが実は「日常」を濃密にするエンジンになっているような気がしています。近い未来の非日常的なイベントを楽しみに日々の仕事を頑張れることや、非日常的なドキドキ感や高揚感を味わった後に、日常を支える何気ない会話や周りの人の存在に感謝することができるのは、「非日常のパワー」の成せる技なのかもしれません。人間の一生の大半は「日常」です。その日常が「非日常のパワー」で濃密に有意義に、温かに流れていくのが、何より幸せなことだなあと思うのです。

今回の宿泊行事の「非日常のパワー」が、西金沢学園の児童・生徒の日常生活をさらに彩ってくれることを祈っています。